

1 目的

漁獲量の減少が著しい諏訪湖において、諏訪湖創生ビジョンに掲げた目指す姿のひとつ「多種多様な生き物が育む湖」を目指し、魚介類の生息に適した豊かな漁場への修復に向けた課題整理と対応策について検討する。

2 検討内容

- (1) 諏訪湖における漁業の現状と課題の整理
- (2) 魚介類の生息・再生産機能を有する湖岸・湖内への修復手法及び手順の検討
- (3) 漁獲量回復の回復に向け、導入可能な既存技術の検討

3 開催状況

- (1) 開催日 令和6年1月11日（木）
- (2) 開催場所 諏訪合同庁舎
- (3) 出席者 23名（外部識者：長野県内水面漁場管理委員長 平林 公男）
- (4) 内容

ア ワーキンググループ

諏訪湖に生息している魚類の確認や漁獲量の推移を共有し、現状の課題等について、意見交換を行った。

主な意見としては

- ・ワカサギの資源量を大量死前まで戻してもらいたい
- ・エビやコイを増やしてほしい
- ・諏訪湖の生態系や環境条件が変わっている
- ・現在の諏訪湖の水質の環境の中で獲れる魚種の検討
- ・資源量について実態がわかるようにする必要がある

イ 人工浮漁礁の現地見学会

県民参加型予算「取り戻そう！豊かだった諏訪の湖～諏訪湖魚介類生息環境修復事業」により設置した人工浮漁礁の現地見学会を実施した。



【湖面に設置した浮漁礁】

4 今後

現状を踏まえ、実施可能な既存技術について、関係機関・団体と検討を行い、対応策を検討する。